

学認クラウドゲートウェイサービスの概要、アップデート

2021年7月7日

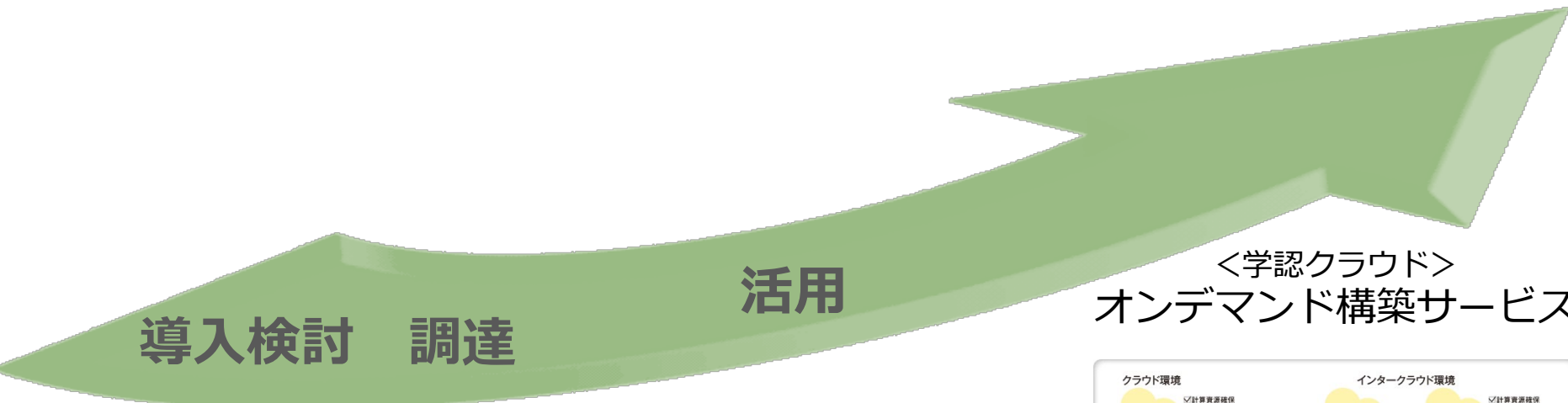
NII学術情報基盤オープンフォーラム2021

国立情報学研究所

クラウド基盤研究開発センター／クラウド支援室

西村 健

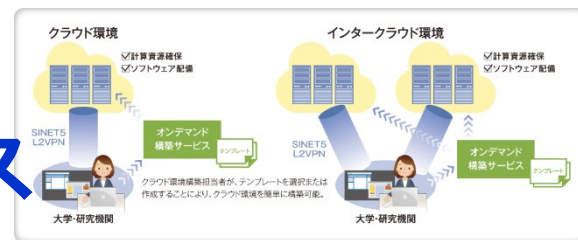
■ 大学・研究機関のクラウド利活用を様々なシーンでサポート



＜学認クラウド＞
オンデマンド構築サービス

＜学認クラウド＞
導入支援サービス

＜学認クラウド＞
ゲートウェイサービス



研究教育のためのクラウド環境構築を
技術的に支援



クラウドサービスにワンストップで
アクセスするためのポータル機能

- クラウド導入の検討
- 仕様策定・調達
- チェックリスト回答の検証
- 個別相談の実施 など
- チェックリスト回答の提供
- 大学・研究機関向け商品の提案



- チェックリスト回答の参照
 - 個別相談の依頼
 - スタートアップガイドの参照
 - クラウド利活用セミナー参加
 - その他
(情報共有、ワークショップ参加など)
- ※本サービスは参加機関のみ利用可能

- 大学・研究機関にチェックリスト回答提供
 - 大学・研究機関のニーズ把握
 - その他
(情報共有、ワークショップへの参加など)
- ※すべて参加事業者のみ利用可能

選択の基準や、導入・活用に関わる情報を
整備し、お伝えするサービス

学認クラウドゲートウェイサービス ～大学・研究機関の認証基盤とクラウドの橋渡し～



- 一言でいえば、アクセス者が利用できるサービスを一覧にしたポータル
- 所属機関で利用可能なサービスが一覧できる
 - 機関毎のカスタマイズ（契約・連携しているサービスの指定/入力）
 - 個人毎のカスタマイズ（並び順の変更や個人利用サービスの追加）



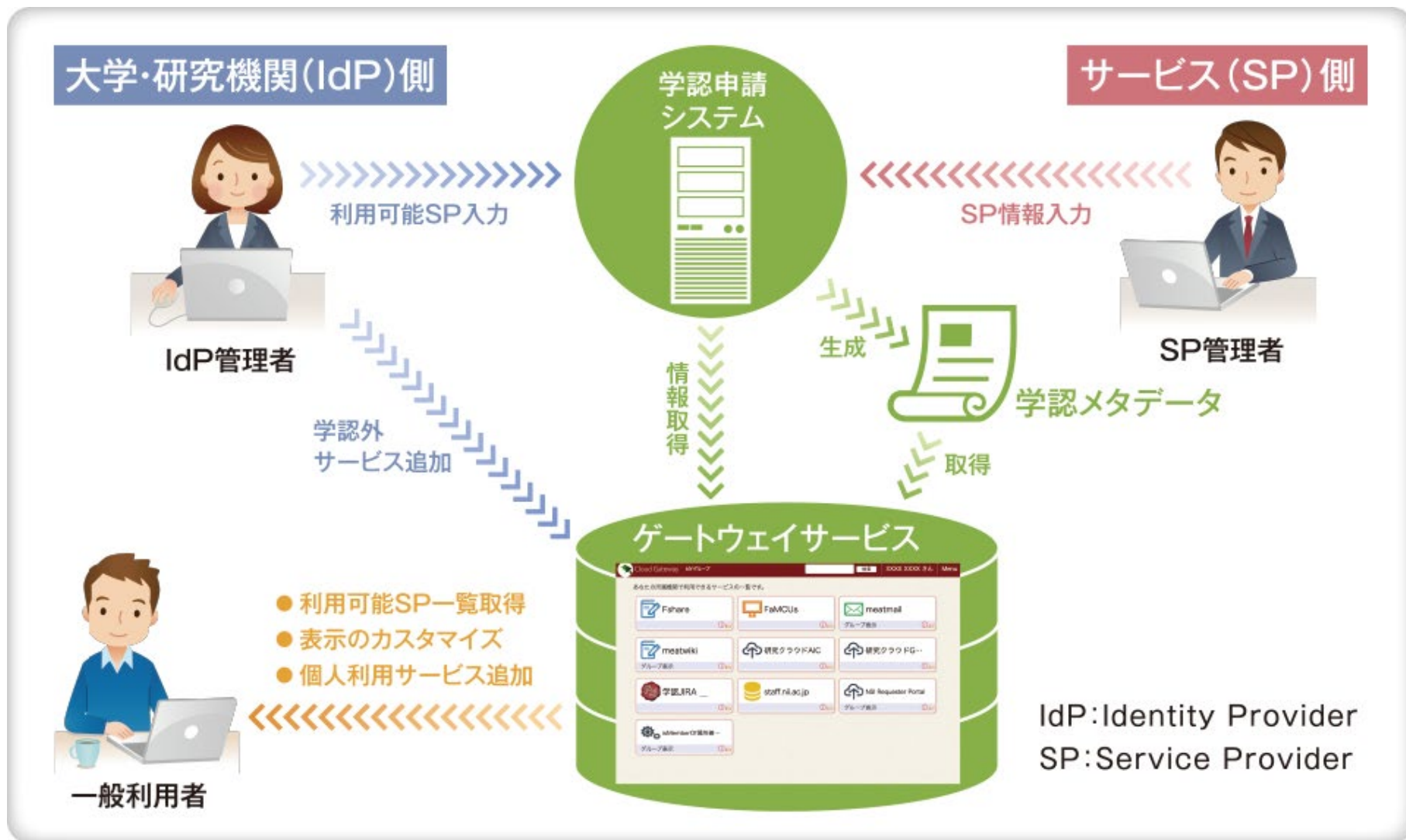
利用者のアクセス例

- 利用者は、ゲートウェイサービスを経由してe-Learningサイトやe-Journalサイトにアクセス



- ゲートウェイサービスに表示されているサービスは利用可能である
= 安心してアクセスできる
- ふらっと、あるサービス(e-Learning B)にアクセスして、
利用できなくて困る、ということがなくなる

ゲートウェイサービスの登場人物と役割



※学認 - 大学・研究機関の認証基盤と商用・非商用のオンラインサービスのためのSSOのための枠組み

大学・研究機関側ができること

- 機関が契約・連携しているサービスを登録できる
 - IdP管理者が登録したサービスは全構成員に提示される
 - 機関で契約しているクラウドサービス
 - 学内サービス など
- 学認参加サービス(SP)であれば一覧から選択するだけ
 - IdPが属性送信設定しているSPに合わせて選択する
 - 学認申請システムでの設定 or ゲートウェイサービスに直接入力
 - ここで「利用可能」と指定されたものが、構成員に提示される

前提

- 学認に参加済みの機関からご利用いただけます
 - ゲートウェイサービスがSPとして所属機関を確認するため



- グループを作成しメンバーを登録しておくことで、そのグループ固有のサービスをメンバーのゲートウェイサービス画面に組み込み可能
- グループの例：共同研究グループ、研究室、etc.
- 学認のGakuNin mAPサービスで培ってきたグループ機能を継承
 - 連携実績あり：meatwiki、しぼすけ等
- 利用者の「自分が使うべきサービス」が一覧できる

例：所属機関が契約しているサービス...



- Elsevier Science Direct
- Clarivate Analytics: Web of Science
- Wiley Online Library
- など

■共同利用Wiki (meatwiki)

グループ機能を利用したより細かな単位で利用サービスを登録可能。グループメンバーだけにそのサービスが表示されます。

...と個人的に利用しているサービス...

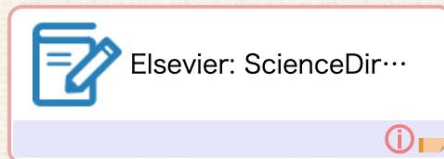
- GoogleのサービスとかMicrosoftのサービスとか

学認(所属機関IdP)でログインするものに限らず、自分がよく使うサービスを追加できます

...を一覧で表示する



あなたの所属機関(国立情報学研究所)で利用できるサービスの一覧です。



Elsevier: ScienceDir...



Web of Science



meatwiki
グループ表示



John Wiley & Sons ...



Gmail



- 次世代mAP
- 学認クラウド参加大学・研究機関
- NII クラウド支援室
- uApprove Jet Pack開発

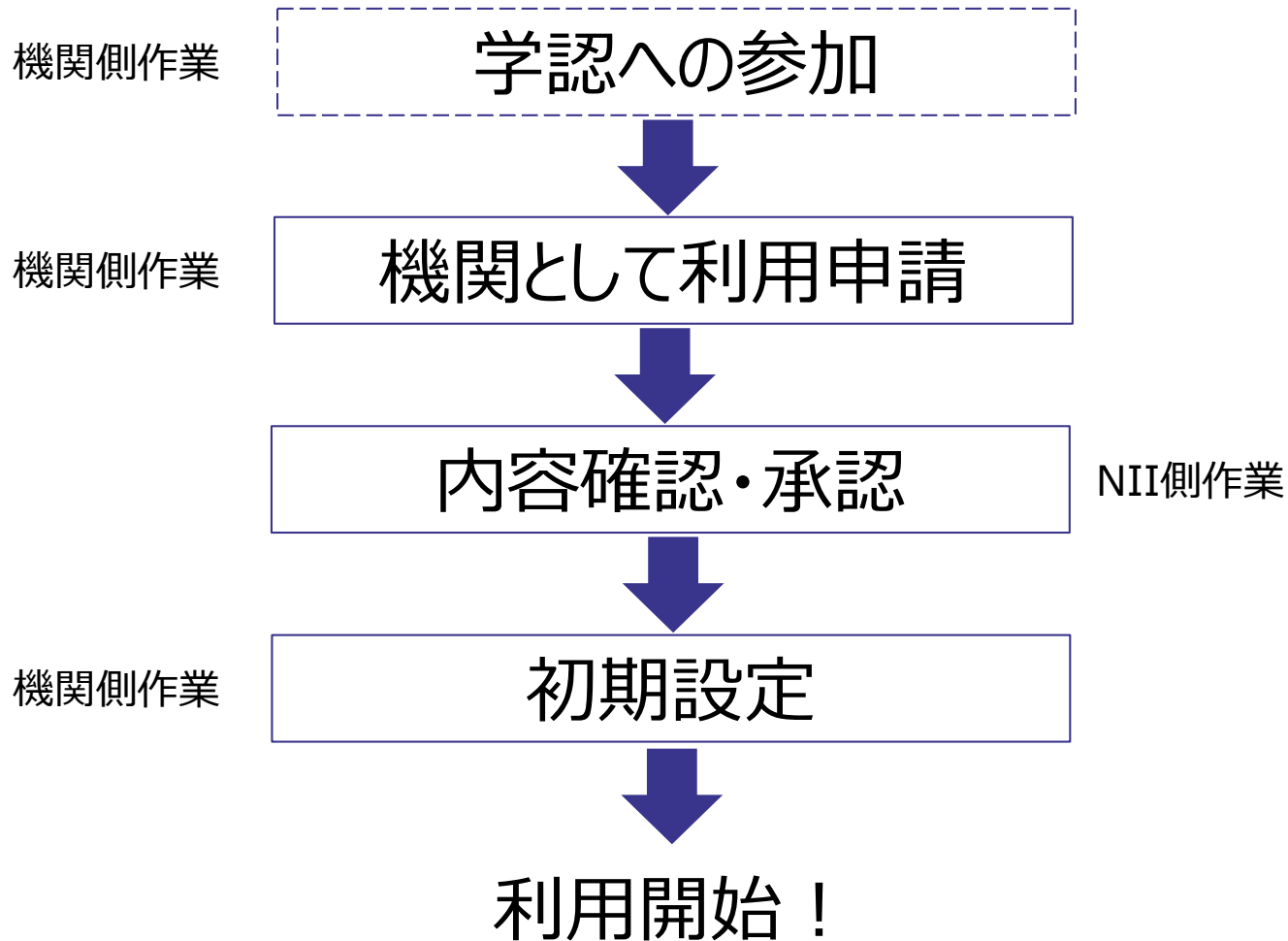
機関契約

個人利用

グループ利用

よく使うサービスを上部に配置することが可能。
この画面を起点として各種サービスにアクセスできます。
他の利用者への案内（「ゲートウェイサービスから〇〇
をクリックしてください」）も楽です！

利用開始までの流れ



ゲートウェイサービスを使うメリット

- 利用者の立場から
 - 自分が使えるサービスが一覧できる
(使えないサービスで迷わない)
 - サービス一覧をカスタマイズできる

- 学術機関(IdP)の立場から
 - 教員/職員を利用させたいサービスに誘導できる
 - 機関独自にポータルを用意する手間がない

- サービス提供者の立場から
 - サービス掲載によって利用者の目に留まる

ゲートウェイサービス アップデート

- パブリッククラウドSSO
- 学生向け・教職員向けメニュー機能
- コミュニティスペース
 - 学認クラウド3サービスの共通スペース

パブリッククラウドSSO

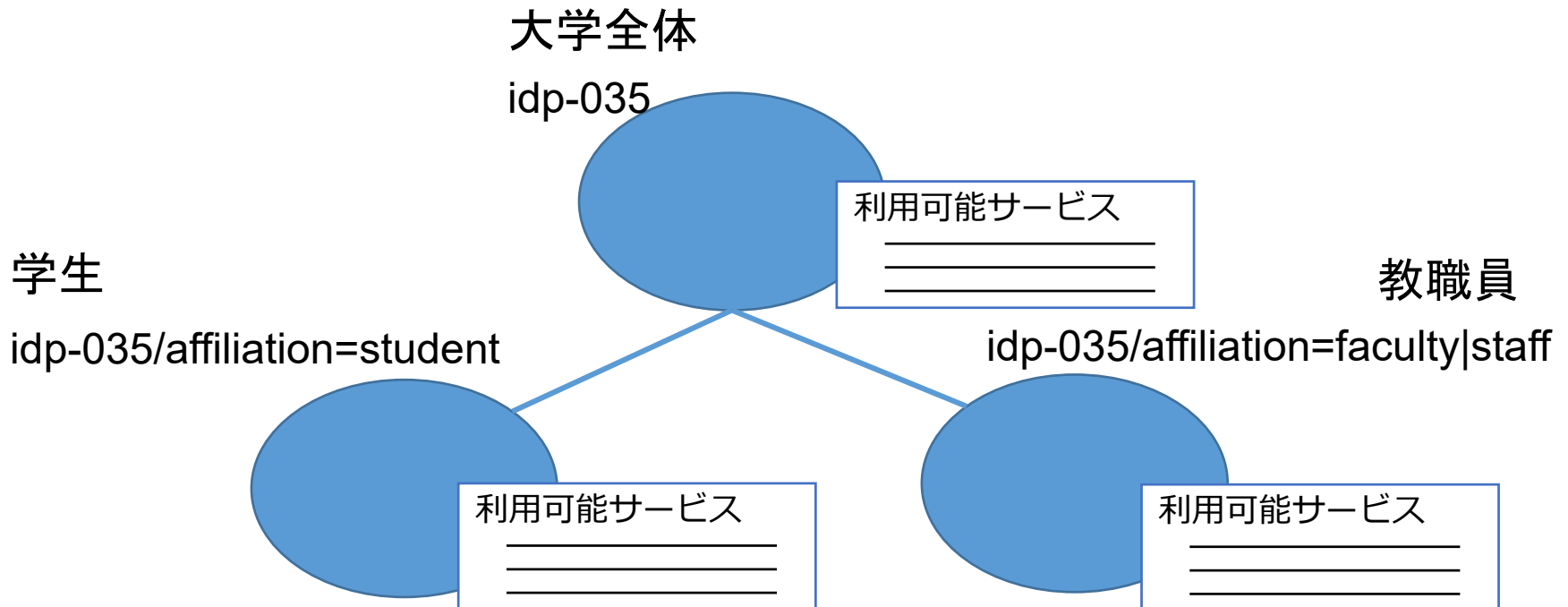
学認に参加していないクラウドサービスへのSSOを促進する取り組みを
→ <https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/AiRsB>
でまとめています。

1. AWSマネジメントコンソールSSO
 - ベータ版提供中
2. Dropbox SSO
 - 学認参加IdPでのSSOの設定方法はDropbox様より公開中
 - ゲートウェイサービスへの統合方法を検討中
3. Slack SSO
 - 通常のSSO設定手順に加えて、NIIでの検討事例を公開予定
 - IdPとの属性同期について
 - 自動アカウント生成の仕組みについて など

これら3つの知見から、グループからの利用を想定したより汎用的な、サービス非依存な手法を検討・試作中です。

利用者の利便性向上のため学生向け・教職員向け メニュー機能 近日提供予定

- 学生は利用するが、教員は利用しないサービス（例:履修登録）、およびその逆のサービスへの対処を望む声が多い
- 「〇〇向けポータル」のイメージ
- 利用者の分類（サブグループ）は、IdPからの属性を元に自動分類
- 特定部局特有のサービスなど、部局毎メニューもカバーする予定



仕組み 近日提供予定

- ゲートウェイサービスに表示される一部サービスの情報が不完全という指摘あり
- SP自身からの情報提供のみでは限界がある
 - 例えば、英語情報しかない
 - サイトの更新に追従できていない場合もある
 - 特に1SPに複数サービスが存在する場合の情報が少ない

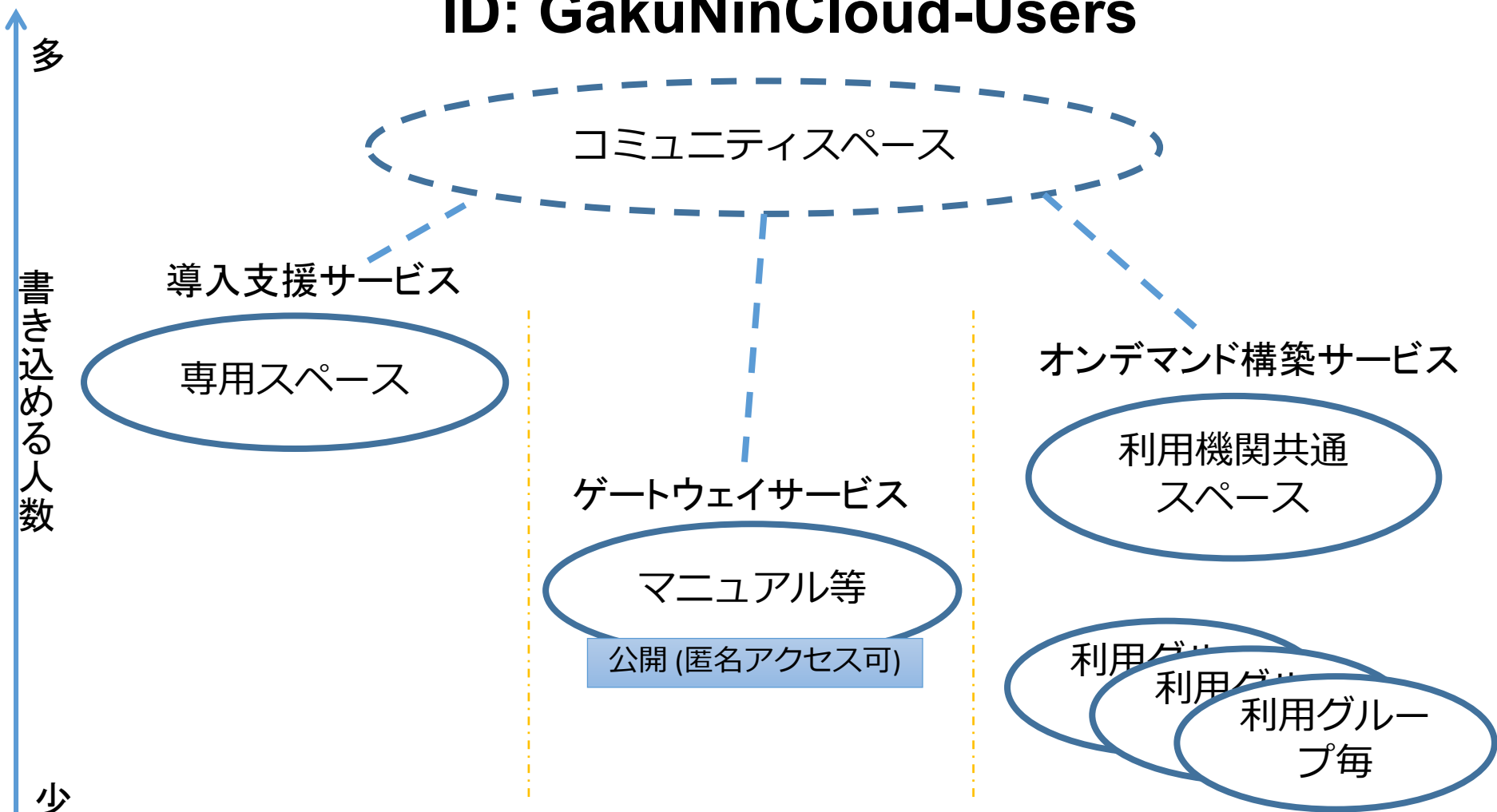


- 参加機関のみなさまが読み書きできるWikiスペースを提供します
- 現在ゲートウェイサービスが保持しているサービス名・アイコン・紹介文・リンク先を1ページで提供します
- いずれかの情報改善案をお持ちの方はコメントでお寄せください
- 定期的にコメントを集約しゲートウェイサービスの設定を更新します

学認クラウドコミュニティスペース構想



ID: GakuNinCloud-Users



- サービス参加機関の間での情報共有や情報交換を促進する
- 既存のグループと接続することで再招待の手間なし（除ゲートウェイ）
- サービスの垣根を越えた情報共有・交換も

ゲートウェイサービスでの利用例

- 例（同じNII提供のものでイメージしにくいですが、GakuNin RDM）

サービス名	GakuNin RDM
アイコン	
ロゴ	 GakuNin RDM 
紹介文	GakuNin RDMは国立情報学研究所(NII)が提供する研究データ管理（RDM）サービスです。
リンク先	https://rdm.nii.ac.jp/
タグ(公開)	研究データ管理, GakuNin RDM, リサーチデータマネージメント, NII Research Data Cloud, NII

- 学認クラウドゲートウェイサービスは利用申請をいただいた機関に対してのみ提供しています
 - 機関の担当者（=IdP管理者）が初期設定することが前提のため
 - ただしグループ管理機能は性格が異なるため未申請機関にも提供

- 利用申請受付中！学認に参加している機関の方は是非！
 - <https://cloud.gakunin.jp/cgw/>
 - 無料でご利用いただけます
- お問い合わせ・ご相談：cld-gateway-entry@nii.ac.jp



<https://cloud.gakunin.jp/>

学認クラウド

検索